

改造概要等説明書 (改造自動車審査結果通知書)

[指示事項]

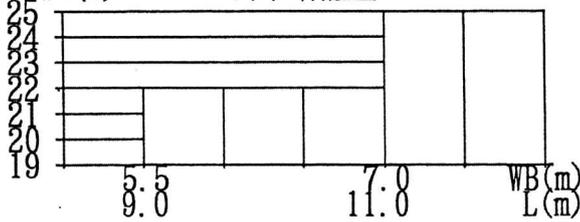
1. 本車両については、車台番号：ZCAR32J00C0014787の1台限りとする。
2. 本車両は、長さ・幅・車両総重量・が緩和を要す。

主要諸元比較表

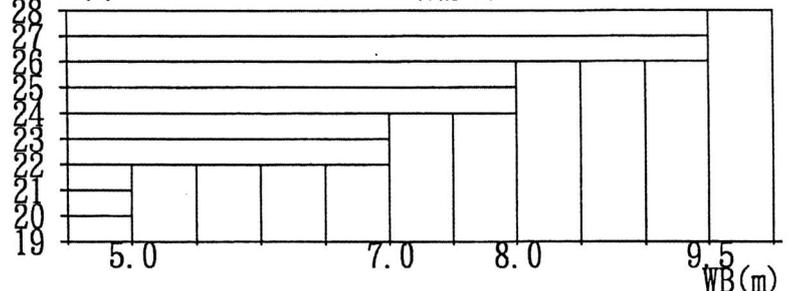
並行輸入車
(改造車・試作車・組立車)

項目	伸長時	短縮時	基準・限度	項目	伸長時	短縮時	基準・限度			
車名	コメント	←		乗車定員	人					
型式	不明	←		最大積載量	kg	45,700	42,300			
自動車の種別	普通	←		車両総重量	前前軸重	24,995	20,195			
用途	貨物	←			後前軸重			≤10t(25000)		
形状	セミトレー	←			後中軸重	8,870×1	9,100×5	≤10t(9200)		
燃料の種類	—	—			後後軸重	8,865×5	9,095×1	≤10t(9200)		
原動機型式	—	—			計	78,190	74,790	≤20.2t(80200)		
総排気量	L	—		最大安定傾斜角度	左	× 64°	× 64°	一般≥35°		
長さ	m	28.600	22.680		右	× 64°	× 64°	その他≥30°		
幅	m	3.300	←		タイヤ	前前軸		()		
高さ	m	3.300	←			前後軸	全て	(9228)		
軸間距離	m	24.460	20.460		サイズ	前後軸	215/75R17.5	(9228)		
室内又は荷台の内側の寸法	長さ	m	23.850	17.850		後後軸	135/133J	(9228)		
	幅	m	3.300	←		前輪荷重割合%	空積		≥18, 20%	
車両重量	前前軸重	kg	10,460	9,480		リヤ・オーバーハング	m	1.040	←	≤1/2, 11/20 ・13.230 m ・10.230 m
	後前軸重	kg	3,680×1	3,840×3		荷台オフセット	m	7.265	4.265	
	後中軸重	kg	3,670×5	3,830×3		最小回転半径	m	24.5	18.6	≤12 m
	後後軸重	kg	3,670×5	3,830×3						
計	kg	32,490	32,490							

車両総重量・軸重等の基準
GVWR(t) セミトレー以外の車両総重量



GVWR(t) セミトレーの車両総重量



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満 (1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg≤18t	kg≤20t	kg≤19t

能力強度等検討

制動能力	踏力 — N — km/h — m		車軸強度	σ _B /σ = / =		≥1.6
	空気圧 kpa			操縦装置強度		
推進軸	回転数	N _C /N _P = / =	≥1.3	σ _B /σ = / =	≥1.6	≥1.6
	強度	σ _B /σ = / =	≥1.6	σ _Y /σ = / =	≥1.3	≥1.3
車軸強度	σ _B /σ = / =		≥1.6	制動装置強度		≥1.6
	σ _Y /σ = / =		≥1.3	連結装置強度		≥1.6

- 注1 : 能力検討欄は、該当しないものは、省略したものは×を記入すること。
 注2 : 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注3 : 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。
 注4 : 牽引車はスカニア・不明型(第5輪25.0t・NR付)トラクタにて検討。※印は連結時の数値。

改 造 等 の 概 要

目 的	当該車両はイタリア国コメット社にてセミトレーラとして製作された車両であり、平成24年9月に日本国内にて新規登録を行った車両でありますが、この度転売されます際に当該車両の持っている能力（許容重量等）を超えない範囲においての使用を目的として、本申請に至ります。
車枠及び車体	
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	
操縦装置	
制動装置	
緩衝装置	
連結装置	
燃料装置	
電気装置	

注1： 変更のない事項については、斜線を記入又は網掛けを施すこと。

注2： 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）に基づく勧告、命令を受ける場合があります。（第57条の2、第63条の2、第63条の3関係）